

【府中市選出】
東京都議会議員

総務委員会 委員

東京都議会自由民主党 政調会副会長

ますやま

増山あすか

清心、専心、
そして実践

東京都議会自由民主党

www.togikai-jimin.jimusho.jp

増山あすかプロフィール 1977年12月生まれ 国際基督教大学高等学校(ICU)卒業 中央大学法学部 法律学科 卒業
大学卒業後、民間企業で法務関連の仕事に従事 2015年府中市議会議員初当選(3期連続)2024年7月東京都議会議員補欠選挙初当選

いま、都議会から目が離せない理由

127人いる議員のうち、各会派から選出された39人で構成される「予算特別委員会」。

増山あすかは、自民党を代表して委員会の構成メンバーとなり、質疑を行いました。子育て支援やまちづくり、都市農業、観光振興など、都政が抱える多様な課題に加え、府中市の地域課題にも焦点を当て、小池都知事をはじめとする執行部に対して丁寧に質問を重ねました。

令和7年度 予算特別委員会 増山あすかの質疑より要約



出産子育て応援事業
〈価格設定について〉

増山

カタログに掲載されている商品は、おむつやミルク等、別のサイトや量販店で購入するほうが安く、家電に至っては数万円も違うとの指摘あり。税金を使っているのにもったいないのでは？



都

複数の小売事業者の販売価格を考慮して設定している。

増山

今はネットで価格を検索できる。値が開くことがないように調査方法を見直すよう要望

出産子育て応援事業
〈商品選定について〉



増山

ベビー服一着5,000円とブランドものの高いものしかなく、日常使いとして揃えるにはもっと安く数を揃えたいと聞いている。一つの商品につき、幅広い価格帯を揃え、低価格の商品もより柔軟に選べるようにすべきではないか？

都

今まで5,000ポイント(円)が最小単位だったが、令和7年度からは1,000ポイントに変更する。

こどもの体験活動

増山

昨年の一般質問で質疑した「子供たちの身近な地域における体験活動の充実」が、令和7年度の新規事業に盛り込まれた。事業概要について伺う。

都

- 子供が企画立案段階から参加して実施する地域活動や体験型のワークショップ、地域企業と連携した体験プログラムなど、幅広い取組への支援を想定
- 補助率を10分の10、補助基準額を1自治体当たり上限1千万円とすることで、市区町村の取組を力強く後押しする。



バスの運転士不足

増山

路線バスもコミュニティバスも運転士不足が原因で減便・廃止が生じている。府中市は、コミュニティバス(ちゅうバス)を含むバス路線再編に向けた検討を地域公共交通協議会で実施している。都はこうした自治体の積極的な取組に対して支援すべきではないか。

都

- 令和7年度は、DX技術の試験導入など運転士の負担軽減への支援に取り組む
- 府中市では、事業者からは運転士不足に伴う運行車両数の減少についての申し入れがある一方、利用者からは現状維持への希望が寄せられており、これらを踏まえ、路線バスとコミュニティバスの再編計画を検討
- 都は、この検討に係る費用の一部を補助しているほか、地域公共交通協議会に参画し、技術的助言を行っている。

救急相談センターと救急車のひっ迫

増山

救急相談センター(＃7119)の受付件数は増加している。取り切れない電話もあるのではないかと。

都

救急相談センターの電話回線及び相談看護師を増強するとともに、相談業務の一部を外部委託し、救急相談需要の多い時間帯に相談看護師を増員配置できるよう受付体制の強化を図っていく。

増山

令和6年の救急出場件数が過去最多を記録したなか、外国人の救急搬送もコロナ禍以降、年々増加している。増大する救急需要に対応するため救急隊の増隊が必要ではないかと。

都

令和7年度は、救急隊四隊、デイトタイム救急隊四隊を増隊することで、救急隊が現場に到着するまでの時間の短縮を図り、傷病者の救命効果の向上を目指す。

多摩地域の産業振興

増山

多摩地域内外の多様な主体を巻き込みながら、多摩地域におけるイノベーション創出に向けた基盤を強化していくべきでは？

都

- 令和7年度はテストマーケティング等への支援を拡充。専門のコーディネーターを配置し、必要な技術力をもつ企業や大学等とのマッチングを進める。
- 国内外への進出に向けた戦略策定や国際展示会への出展の支援を実施する。

農業経営への支援

増山

土地の狭い東京で収益を確保するには効率性や生産性が強く求められ、農家のみなさんは大変苦勞している。生産性の向上や作業環境の改善など意欲的に経営に取り組む農業者への支援を強化していくべきはないか。

都

- 新たにトラクターなど、生産性の向上や作業の省力化につながる農業機械を対象に加える。
- 経営規模の拡大を目指すため、隣接する県に栽培や加工施設等を整備する場合への助成を開始する。
- 働きやすい環境整備を促進するため、生産や出荷の作業を行う施設に空調設備を導入するなど、必要な経費の4分の3を助成する。

販路開拓による農業者支援

増山

近年、生産コストが上昇する中、農業経営が圧迫されている。地元での出荷が多い都内農業者において、高単価での販売が期待できる都心部への販路拡大や消費者ニーズを重視した商品開発などは、ハードルが高い。収益力の向上に向けて、販路の拡大に取り組む農業者への支援を強化すべきではないか。

都

- 令和7年度、農業者と都心部の飲食店などのマッチングを促進するサイトを新たに立ち上げる。
- 消費者からの様々なニーズに応えるため、ブランド化などに取り組む農業者に対し、専門家を派遣する支援を強化する。



増山あすかの
質疑中継は
こちらから▶



ーすべての人にやさしくー 「スマート東京」が 動き出しています



高齢者にも、子育て世代にも、そしてデジタルに不慣れな人にも。誰一人取り残さない未来を目指して、東京都は「スマート東京」構想のもと、暮らしやすく、安心で、便利な都市づくりに本格的に取り組み始めました。行政手続きのデジタル化、災害時の即時情報提供や、街のインフラのスマート化など、私たちの生活が少しずつ、でも確実に進化しています。テクノロジーをやさしさに変える、その先頭に立って、東京は動き出しています。



令和7年 総務委員会 増山あすかの質疑より要約

東京アプリ

ボランティア活動などに参加するとポイントがもらえるアプリをリリースしました。貯まったポイントは、d払いやauペイに交換してお店で使え、今後は、行政手続きもこのアプリで完結できるようになります。今年の秋には、7000円分ポイントを付与されるキャンペーンを実施する予定で補正予算799億円が組まれました。

〈前提条件〉 ・15歳以上の都民 ・マイナンバーカードでの本人認証



区市町村との連携

増山

区市町村とも連携し利用を拡大すべきでは？

都

自治体が主催するイベントや健康づくり、ボランティアでの活用に向けた調整を進める。また、地域通貨とポイントを交換する機能の実装など機能を拡充していく。

サポート体制

増山

スマホの操作に不慣れな高齢者へのフォローが重要ではないか？

都

地域の自治会や高齢者福祉施設等を通じて分かりやすく広報していく。

ユーザーレビュー

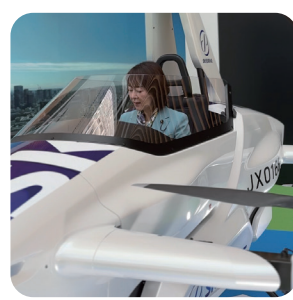
東京都は、3年かけて行政手続きの100%デジタル化を目指しており、自民党は、利便性を高める“質の向上”の重要性を代表質問で強調してきました。このたび都は、満足度の“見える化”と改善に向けて「ユーザーレビュー」制度を導入。総務委員会では、4,711件の回答があることが判明し、改善内容の可視化など、都民が変化を実感できる工夫を求めました。

現地視察

多摩総合医療センター東館がオープン(4月21日) がん検診センターの精密検査部門が、多摩総合医療センターに統合し、「東館」として診療を開始します。内視鏡室14室とリカバリーベッド21床を新設。産婦人科や乳腺外科の患者さんに配慮した女性専用エリアを設置。最新の半導体PET-CTを導入し、短時間で高精度な検査が可能になります。



空飛ぶクルマ 東京都は「空飛ぶクルマ」の社会実装に取り組んでおり、2027年度に臨海部や河川での運航を経て2030年度の市街地展開を目指しています。東京国際フォーラムで体験イベントが開催され、デモフライトを成功させた試験機の展示やVR体験、音の体験を開催し、連日多くの方で賑わっていました。



都政へのご意見・ご要望をお寄せください

TEL:042-366-0066 FAX:042-358-6062 東京都議会議員 増山あすか事務所 〒183-0023府中市宮町2-1-15 府中パークホームズ2F

